

# 広島市 <sup>いながき</sup> 稲垣氏収集文書 仮目録

## 広島県立文書館

平成24年(2012)9月

### 凡 例

- 1 本目録には、広島市 稲垣氏収集文書を掲載した。
- 2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(199705)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 1        199705 / 1

表 題	資料に原表題のあるものはそのまま採り、ないものは適宜付与し〔 〕書きで表記した。内容等で補記すべきものがあれば( )で補った。
年 代	資料に記された作成年月日を探り、推測した場合は( )書きで表記した。
作 成	資料に授受関係のあるものは        で結んで表記した。
形 態	資料の形態を記した。
数 量	資料の点数を記した。
- 3 文書の排列は請求記号順とした。
- 4 利用の参考のため、本文書群の概要を冒頭に付した。

## 【文書群概要】

### 広島市 <sup>いなぎ</sup>稲垣氏収集文書（請求記号 199705）

広島市東区の稲垣氏が収集したもので、戦国大名毛利氏から家臣の渡辺源五郎に宛てた文書。

出 所 稲垣氏

出所地名 広島市東区 [ 現在 ]

分 量 9 通

収蔵までの経緯 平成 9 年(1997)9 月に原蔵者より寄託。

年 代 天文 9 年(1540)~ 天正11年(1583)

歴 史 寄託者の父が収集。『広島県史』古代中世資料編Ⅳ（県内文書編）に「飯田米秋氏所蔵文書」として掲載されているが、寄託者によれば、父が遠縁に当たる飯田米秋氏に貸していたもので、その後返却された。

内 容 9 通はいずれも渡辺源五郎宛て。内訳は毛利元就の感状が 2 通，毛利元就・隆元の感状が 2 通，毛利隆元の宛行状が 1 通，毛利輝元の加冠状が 2 通，毛利輝元・秀就の仮名書出が各 1 通。嵯峨源氏の渡辺氏は摂津国渡辺（現大阪市）の出身で毛利氏の家臣。『萩藩閥閥録』巻41の「渡辺源四郎」，「譜録 渡辺六兵衛満」（山口県文書館蔵）に源四郎の子孫が所蔵する文書が収載されているが、この 9 通は収載されていない。

参考資料 『広島県史』古代中世資料編Ⅳ，308～311頁に全点収録。このうちNo. 2・No. 4 は松井輝昭「戦場を行き交う文書」（『広島県立文書館だより』第10号，平成 9 年）で紹介されている。

検索手段 「広島県立文書館収蔵文書仮目録」

利用上の留意点 紙焼き写真版の利用を原則とする。

（2012. 9. 8 記述 / 西村 晃）

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1	毛利元就感状 11.3cm × 26.0cm, 『広島県史』古代中世資料編IV, 飯田米秋氏所蔵文書1号	天文9.10.12	渡辺源五郎	切紙	1通
2	毛利元就感状 13.8cm × 33.5cm, 飯田米秋氏所蔵文書2号	天文10.正.14	渡辺源五郎	切紙	1通
3	毛利元就同隆元連署感状 16.5cm × 22.6cm, 飯田米秋氏所蔵文書3号	天文21.7.28	渡辺源五郎(雄)	切紙	1通
4	毛利元就同隆元連署感状 14.4cm × 22.4cm, 飯田米秋氏所蔵文書4号	天文23.6.11	渡辺源五郎(雄)	切紙	1通
5	毛利隆元宛行状 28.7cm × 43.9cm, 飯田米秋氏所蔵文書5号	弘治3.9.19	渡辺源五郎(雄)	豎紙	1通
6	毛利輝元加冠状 28.0cm × 42.0cm, 飯田米秋氏所蔵文書6号	永禄11.5.3	渡辺源五郎	豎紙	1通
7	毛利輝元加冠状 27.6cm × 40.5cm, 飯田米秋氏所蔵文書7号	天正9.12.26	渡辺源五郎	豎紙	1通
8	毛利輝元仮名書出 27.3cm × 43.8cm, 飯田米秋氏所蔵文書8号	天正11.7.13	渡辺源五郎	豎紙	1通
9	毛利秀就加冠仮名書出 31.7cm × 48.5cm, 飯田米秋氏所蔵文書9号	元和9.12.25	渡辺源五郎	豎紙	1通